

第38号 H26.7.17 文責:三澤庸助	学校だより 陽心 ~明日に夢を持って生きていこう~	栃木市立東陽中学校 教育目標 自主・健康・奉仕
-----------------------------	------------------------------	-------------------------------



学校だより 陽 心

栃木市立東陽中学校
教 育 目 標
自 主・健 康・奉 仕

いよいよ1学期も明日で終わりになります。時間の流れを早く感じているのは私だけでしょうか。今学期はいつもの年度に比べ大変よいスタートが切れたのではないかと思っています。子どもたちは常に前を向いて、学習や学校行事に積極的に取り組んできました。1年生は、新しい学校生活を迎える、小学校とは勝手が違うことに戸惑うこともあったかと思いますが、早く中学生としての自覚を持とうと頑張ってきました。その中で行われた宿泊学習では、多くのリーダーが育ちすばらしい生徒がたくさんいることに本校教員自らが驚きを持っていました。これから成長がますます楽しみです。2年生は、先輩と呼ばれる立場になりましたが、驕ることなく中堅学年としての務めを果たしています。特に素晴らしいのは、無言清掃への取組です。黙々と働く姿に感動すら覚えます。夏休みの大会後にはきっと素晴らしいリーダーとなって部活動を担ってくれると思います。3年生は、さすがに最高学年としての自覚を持って一つ一つの行事をこなしてくれました。生徒会総会では、各専門部長が原稿を見ずに活動方針等を述べる姿は、1・2年生の鏡です。春季大会地区予選では、どの部もどの生徒も精一杯頑張っていました。その中で県大会出場を決めた個人や団体もありますが、精一杯やっても県大会出場に届かなかった生徒の姿にこそ感動を覚えました。負けた姿で感動を与える生徒たちは本当に素晴らしいと思います。いよいよ3年生にとっての最後の大会があさってから始まります。どんな感動を与えてくれるのか楽しみです。

数々の成果のあった1学期でしたが、1学期のスタートにあたって話したことは「凡事徹底」と「積小為大」です。当たり前のことと当たり前にできる生徒になろう、人になろう。小さなことをおろそかにせず地道にコツコツ取り組んでいこう。このふたつは決して難しいことではないはずです。凡事徹底は人として生きていくうえで欠かせないもの。「あいさつ」「時間を守る」「整理整頓」「公私をわきまえる」など。特に学校という公共の場ではこれらのことをしてしっかりできる子どもたちを育てていきたいと思います。そしてもうひとつ大切なことが、毎日をしっかり生きるということです。つまり、毎日毎日を地道に一歩一歩、歩んでいくということです。ただし、この歩みは決して無目的に歩むのではありません。自分なりの目標をしっかり定めて、そのために必要なことにコツコツ取り組んでいくということが大切だと考えています。それを実践できる子どもたちを育てていきたいとも考えています。いよいよ夏休みです。事件事故に巻き込まれることなく有意義な時間を過ごして欲しいと願っています。家族団らんのよい機会にもしてください。

とちぎ未来アシストネット
今年もよろしくお願いいいたします



より国府地区より元本校PTA会長の佐藤博之様も加わりお二人にお願いすることとなりました。すでに、環境整備として樹木の剪定や家庭科での大宮女性会の皆様のお力添えを得ています。この後も、いろいろな活動場面でお力添えをいただき、子どもたちの教育活動がより充実するよう務めていきたいと思います。

薬物乱用防止教室が行われました

7月4日（金）、薬剤師の佐藤博之様（アシスト地域コーディネーター）をお招きして「薬物ダメ！絶対！～脱法ドラッグの危険～」と題してご講演をいただきました。最近では、JR池袋駅付近での暴走車による8人死傷事件がありました。原因是、脱法ハーブ吸引によるものと思われています。脱法ドラッグは、覚醒剤や大麻などの規制薬物に似せて合成された化学物質を含んでおり、有害な物質が入っているとのことです。場合によっては、大麻や覚醒剤以上に危険な成分が含まれていることが多いのだそうです。そして何より、未成年者の飲酒や喫煙も薬物乱用になるとのことです。

医療機関や薬剤師以外から勧められた薬は、危険な薬物の可能性あり！

絶対に手を出さないで！



臨時交通委員会集会が行われました



6月24日(火)、急遽、臨時交通委員会を行いました。交通ルールを守らなければならぬことは生徒も十分に理解していると思います。しかし、実際には、2列、3列が当たり前のように並進をしたり、一時停止を怠ったりと自らの危険とともに、一般の方に迷惑をかけている生徒がいることも事実です。実際、24日の朝に臨時集会を開き事故の恐ろしさや交通ルールを守ることの大切さをビデオ等を通して指導したにもかかわらず下校時に並進をして指導されている生徒がかなりの数に上りました。大変残念です。生徒にはより高い規範意識を持って生活して欲しいと思います。交通ルールを守ることは、自らの命と他人の命そして家族などへの迷惑をかけないことから必要だということをよく言い聞かせてください。最近では、自転車走行中、加害者となることもあります。加害者になると刑事罰、民事罰が待っています。相手を死亡させてしまったり重大な後遺症を与えてしまった場合は数千万円の賠償金は命じられています。

【臨時交通委員会を行った経緯】

6月19日(土)、部活を終えて帰る途中軽自動車と衝突。救急車によって病院に運ばれたが、ひざのさらを骨折する重傷を負う(全治2ヶ月)。



アルミ缶回収率100% を目指して



アルミ缶回収では、保護者の皆様や地域の皆様にご協力をいただきありがとうございます。わざわざ学校まで車で届けてくださる保護者の方もいて、ありがとうございます。

ご存じのように、アルミ缶回収の収益金は、若あゆ祭の打ち上げ花火に使われたり、地域の福祉施設へ車椅子などを寄付したりと、生徒自身そして地域に還元させていただいています。アルミ缶回収を通して子どもたちの豊かな心が育ってくれればと願っています。アルミ缶回収では量も大切ですが、全員が参加するということにさらに意味があると考えています。どのクラスも回収率100%を目指して頑張っています。これからも保護者の皆様のご協力をお願いします。6月18日に実施された回収結果は、回収率100%を達成したクラスが8クラスあり、全体の回収率は90%になりました。



無料通信アプリをはじめとするインターネット交流サイト(SNS)の利用について

本市では、携帯電話やスマートフォンなどの所持禁止を保護者の皆様にお願いしています。しかし、家庭の事情等もあって持たせているご家庭もあるようですが最近、LINEによる加害・被害が出ていくようです。タブレット端末等を含め、保護者の方が持たせている場合には、何らかの事件事故に巻き込まれた場合には、保護者の方自信が責任を持たなければならないということを認識してください。たとえば、お子さんが、他人の悪口を書き込みした※

※ならば、その責任は本人はもちろんですが保護者の方も負わなければならないということです。さらに最近驚くことは、保護者の方の書き込みが子どもを巻き添えにしている事例もあります。保護者の方自信も決して間違った使い方をしないでいただきたいと思います。便利なツールはお互いが楽しく正しく使ってのツールです。保護者としての情報モラルの向上にも努めていただければと思います。

《Coffee break》

日本の教員 仕事時間最長 部活指導、事務作業が要員

月	22:00
火	22:00
水	22:30
木	20:00
金	21:50

6月16日の各新聞に、経済協力開発機構(OECD)が、中学校を対象に教員の勤務時間や指導状況を調査した国際教員指導環境調査の結果が掲載されました。ここでは、下野新聞の記事を参考にまとめてみました。ちなみに、左表が何かお分かりになるでしょうか。本校職員のある週の最終退出時刻です。現在、法で定められている勤務時間は、本校では8:00分から16:30分までです。最終退室が22時とすると5時間30分の超過ということになります。1日の勤務時間は7時間45分ですので、1日の勤務時間が13時間15分ということになります。これを一週間にすると66時間15分となります。調査の結果では、日本の教員の一週間の平均勤務時間が53.9時間ですので、本校職員はさらに長時間にわたって勤務していることになります。これには、朝練等の時間は入れてありませんので、さらに長くなります。ライフワークバランス。先生方には私的な時間も大切にして欲しいことから生徒を帰してから遅くとも2時間後には退勤しましょうと呼びかけていますが(夏場は9時、冬場は7時)、実際は事務処理や教材研究等で難しい状況です。先生方が体を壊さないかと心配ですが、頑張っている先生方には頭が下がります。

